



迷った時には

心がワクワクする方を

選んでみませんか？

とくとう もとふみ

得能 基史 さん

南砺市役所(富山県)
市民協働部 南砺で暮らしません課 主事
富山県南砺市出身

平成24年度 富山高等専門学校 環境材料工学科卒業
平成26年度 長岡技術科学大学 環境システム工学課程卒業
平成27年度 金沢市内の工業用資材専門商社 入社
平成31年度 南砺市役所 入庁(3年目)

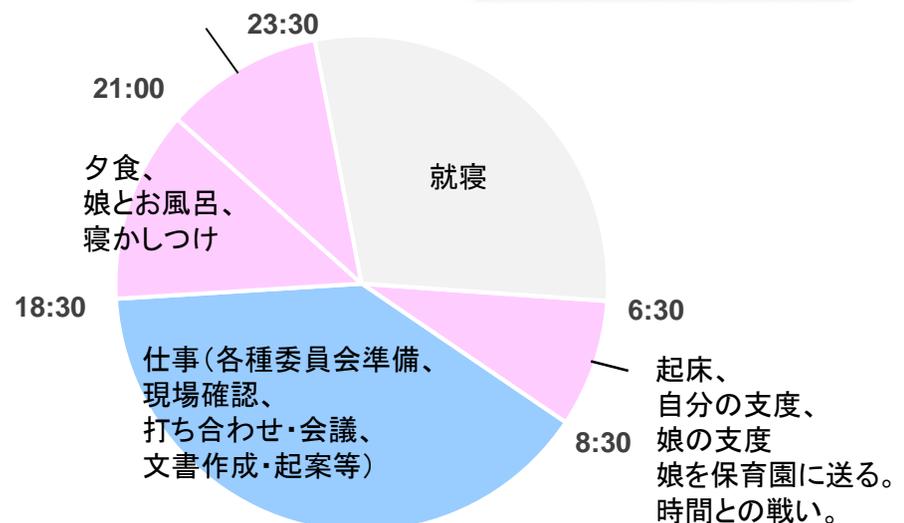
✓ 得能さんの 日々のルーティン

娘が生まれてから、娘中心の毎日が続いています。慣れない育児に不安もありますが、娘の笑顔に癒されながら日々過ごしています。

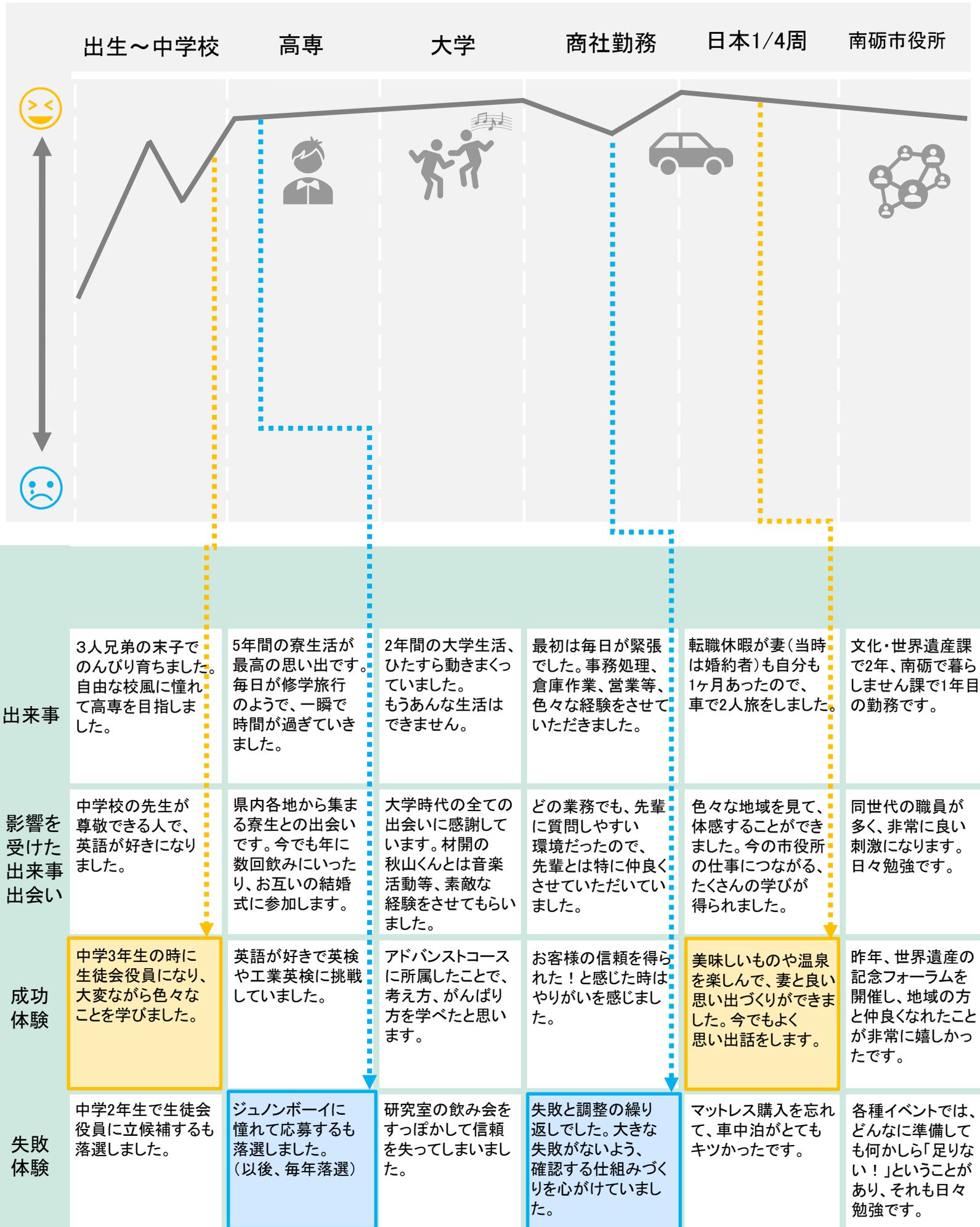
フリータイム
経済系新聞購読(社会人1年目からの習慣)、
趣味(お箏・三味線)、
読書、日本酒を飲む



仕事のモットーは、「楽しむこと」です。大変な時は充実していると捉えるようにしたり、時間を捻出して趣味のお箏をするよう心がけて、バランスを取っています。新潟で教えてもらった「日本酒を楽しむ心」を忘れないよう過ごしています。



✓得能 基史さん “私のライフチャート”



✓得能さんに いろいろお聞きしました!

今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

地元(南砺市)が大好きなことが一番のきっかけです。学生時代は税金から給料をもらうというイメージに抵抗があり、公務員という選択肢はありませんでした。社会人になってから素敵な公務員の方との出会いがあり、「公務員ってかっこいい」という気持ちが芽生えました。南砺市で実施している自己アピール枠という採用試験に挑みました。

この仕事を続けていてよかったと思うところはありますか?

市役所の仕事は全て南砺市民のための仕事なので、市民の困りごとを解決できた時や、市民と一丸になってイベント等を開催できた時にはとてもやりがいを感じます。熱い思いを持った市民の方と出会う機会も多く、日々勉強させていただいています。異動が多く、自分の行く先を決められませんが、そのたびに一から勉強ができ、異なる仕事のなかに共通項を見つけたり、いろんなスキルの積み重ねができる点もこの仕事の魅力だと思っています。

ロールモデルを教えてください

人生全般では、今も昔も変わらず兄です。やりたいこととやるべきことを両立する姿勢を尊敬しています。各分野ごとにもロールモデルはいます。多動力では南口誠先生です。100m走をしながら将棋とオセロをしているような日々を送っておられる印象です。忙しい時は「南口先生よりは暇だ」と自分に言い聞かせます。

ワークライフバランスについて教えてください

学生時代にがんばりすぎて体を壊しかけた経験から、「定時に帰ること」をルールにしています。学問も研究も仕事も、終わりはありません。だからこそ、帰ることでスイッチを切り替えて、定時に密度の高い仕事ができるよう心がけています。ワークライフバランスは仕事以外の時間を充実させることに目を向けがちですが、仕事をしっかりと充実させることも大切だと思います。仕事のためにしっかり休む、プライベートな時間を大切にするために仕事をしっかりする。ふたつの両立を目指すことがワークライフバランスだと思います。個人的には境目をなくして、ワークアズライフの状態に近づけたいと考えています。

学生時代の自分を振り返って

一番苦手だったリーダーに挑戦してみようと、クラブ連絡会の会長に挑戦しました。メンバーに迷惑をかけたつも、勉強させていただきました。感謝しています。卓球部、合唱部、PMC(軽音部)に所属して、「単位を売って欲しい」と言われるほどに授業に出て、バイトもして、寝る暇もないほどに活動して体を壊しかけていました。キブシと言うデュオを組んで、夜中の技大で歌の練習をしていたのが大切な思い出です。



社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします

長岡技術科学大学を卒業すれば、どんな業界でも活躍できると思います。臆さず、果敢にチャレンジしていただきたいです。

✓得能さんの 育休体験



育休はいつから、 どれくらい取得しましたか？

令和3年の2月に、1ヶ月間取得しました。
娘は10月生まれなので、生後4ヶ月の時期を
一緒に過ごせました。



育休中はどうでしたか？

かけがえのない、最高の時間でした。
妻も育休を取得していたので、家族3人で
過ごすことができました。
子どもの成長をそばで見られたことが、か
けがえのない思い出です。
ママの抱っこだけでなく、僕の抱っこでも寝
てくれるようになったことが嬉しく、どうしても
妻に集中してしまう育児の負担を分散するこ
とができたと思います。
育休という名のおり「休めるかな」と淡い
期待をしていましたが、休んだという実感は
ありませんでした。
ただ、家族でたくさんの時間を過ごすこと
ができて、幸せでした。



取得の準備や 周りの反応は？

上司に妻の妊娠を伝えた時「育休を取っ
てみてはどうか」と言っていたので、取得に向けて動き
始めました。

前年度までの男性育休取得率はゼロでしたが、
令和2年度は6名が取得しました。

市として男性の育休取得を推奨していたこと、当時
の小泉大臣が取得されたことなど、色々な追い風が
背中を押してくれました。

上司と話し合い、仕事を引き継げる体制を作り、
1カ月取得させていただきました。

初めてのことなので色々な意見はありましたが、
職場は後押ししてくれました。

親族からも色々な意見が出ましたが、最後は夫婦
の思いを伝えて取得することができました。

これから育休取得したい人にメッセージをお願いします

僕は育休を取得して、本当にいい時間が過ごせました。
自分に素直に向き合って、家族や職場に相談してみてもいいか
がでしょうか。
きっと周りが後押ししてくれるはずです。